

## エアリーフローラの促成栽培のための時期別最適冷蔵期間

### 1 背景・目的

エアリーフローラシリーズは、球根を冷蔵処理して出荷時期を早める促成栽培により作期の拡大を進めている。冷蔵処理においては、処理期間が不足し定植後高温にさらされると異常開花が発生し、商品化率が低下する。そこで、品種ごとの適正な時期別冷蔵期間を検討する。



異常開花

### 2 技術のポイント

- (1) 冷蔵期間が長過ぎると切り花重が減少する(表1)。
- (2) 切り花重や異常開花の発生などから総合的に判断して、品種別冷蔵開始時期別に最適な冷蔵期間を設定した(表2)。

表1 冷蔵日数の違いと冷蔵後の高温が「石川f1号」の切り花品質に及ぼす影響

作型	処理日 (月/日)	冷蔵期間 (週間)	開花日 (月/日)	切り花重 (g)	切花長 (cm)	商品化率 (%)
8月冷蔵	8/28	4	2/8	32.4	71.3	0
	8/21	5	1/17	22.2	63.0	50
	8/14	6	1/9	21.9	59.0	80
	8/7	7	11/29	13.6	41.6	60

注) 冷蔵処理後、高温処理(28℃24時間)をし、順化後、10月2日に定植した。

表2 冷蔵促成栽培における冷蔵開始時期と期間と開花時期

品種	冷蔵開始	冷蔵期間	10月			11月			12月			1月			2月			3月
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上			
f1号	8月冷蔵	6週間	▲	▲														
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲												
f2号	8月冷蔵	5週間	▲	▲	▲													
	9月冷蔵	4週間		▲	▲	▲	▲											
f3号	8月冷蔵	7週間	▲	▲	▲													
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲	▲											
f4号	8月冷蔵	6週間	▲	▲	▲													
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲	▲											
f5号	8月冷蔵	5週間	▲	▲	▲													
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲	▲											
f6号	8月冷蔵	6週間	▲	▲	▲													
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲	▲											
f7号	8月冷蔵	6週間	▲	▲														
	9月冷蔵	5週間		▲	▲	▲												

▲: 定植 □: 開花時期

### 3 成果の活用と留意点

定植後、ハウス内の最高気温が35℃以上になることや、25℃以上が5日以上続くことが予想される場合は、冷蔵期間を1週間程度延ばす必要がある。

問合せ先: 育種グループ TEL 076-257-6911

担当者: 村濱 稔・平野春菜